

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-39136(P2004-39136A)

【公開日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-005

【出願番号】特願2002-196096(P2002-196096)

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 7/26

B 2 9 C 39/10

// B 2 9 L 17:00

【F I】

G 1 1 B 7/26 5 1 1

G 1 1 B 7/26 5 3 1

B 2 9 C 39/10

B 2 9 L 17:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月28日(2005.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非晶質ポリオレフィン系樹脂からなることを特徴とする光学多層記録媒体成形用透明スタンパ。

【請求項2】

上記透明スタンパの厚さが0.6mm以上で、かつ、1.5mm以下であることを特徴とする請求項1に記載の光学多層記録媒体成形用透明スタンパ。

【請求項3】

光学多層記録媒体の製造方法であつて

基板上に、未硬化の光硬化性樹脂層と、非晶質ポリオレフィン系樹脂からなる透明スタンパとをこの順で積層する工程と、

前記透明スタンパを透過した光により、前記未硬化の光硬化性樹脂を硬化する工程と、前記透明スタンパを除去する工程と、を有することを特徴とする光学多層記録媒体の製造方法。

【請求項4】

上記透明スタンパの厚さが0.6mm以上で、かつ、1.5mm以下であることを特徴とする請求項3に記載の光学多層記録媒体の製造方法。

【請求項5】

上記透明スタンパを透過した光により硬化された光機能性樹脂からなる層が、上記光学多層記録媒体において記録層間に介在している層である光透過性中間層、および、上記後学多層記録媒体において最も外側に位置する層であるカバー層の、いずれかの層であることを特徴とする請求項3または請求項4に記載の光学多層記録媒体の製造方法。

【請求項6】

上記未硬化の光硬化性樹脂層と、非晶質ポリオレフィン系樹脂からなる透明スタンパとをこの順で積層する工程の後に、該積層体を回転させて該未硬化の光硬化性樹脂層を所定

の厚さとする工程を有することを特徴とする請求項 3 ないし請求項 5 のいずれかに記載の光学多層記録媒体の製造方法。